

レポートの電子化方法例(学生向け)

京都大学大学院理学研究科 数学・数理解析学専攻 数学系

令和2年7月

1次合格者のうち先端コース志望者は、事前に指定した問題に解答をして、それをオンラインで提出いただきます。解答は数式を含むために何らかの形で作成したレポートを電子化する必要があります。以下はその方法の例を記したものです。

- 1) 紙に書いた解答を Adobe Scan で撮影して PDF ファイルとして電子化 (推奨)
 - Adobe Scan (<https://acrobat.adobe.com/jp/ja/mobile/scanner-app.html>) は、カメラで撮影した画像を PDF に変換するためのスマートフォンやタブレット PC のアプリです (無料ダウンロード可。ただし利用のためにはクラウドにアクセスするためのアカウント作成が必要です)
 - 撮影後の品質が非常に優れているので、この方法を強く推奨します。
 - 本方法については以下の HP が参考になります。
http://www.kyoryu.scphys.kyoto-u.ac.jp/scan_then_panda/stp.html
- 2) 紙に書いた解答をスキャナー (Scan Snap など) でスキャンして電子化
 - スキャン後の電子フォーマットは PDF を強く推奨します。
- 3) ソフトウェアを使って解答を作成して提出する。
 - ワードプロソフト (Word など) で数式機能を使って作成する。
 - TeX/LaTeX は数式を含む文章を作成する。
 - Surface や iPad のようなペンタブレット PC を持っている場合は、その上で動くアプリを使って直接手書きで書き込んだものを電子化して提出できます。

いずれの方法で提出するにしても、以下の点に留意してください。

- ✓ 撮影する紙の上部中央に「受験番号」「氏名」をしっかりと書き、左上に「問題番号」を書くこと、複数ページにわたる場合は右上に「ページ番号/全ページ数」(たとえば三ページ中の二ページ目なら 2/3 など)を書くこと。
- ✓ 大きめの字で丁寧に書くこと (特に添字はしっかりと区別しやすくすること)
- ✓ カメラ撮影する場合は、紙 (撮影対象) に照明を当てる、フラッシュを活用するなど電子ファイルから提出内容が判読できることを確認してから提出すること。
- ✓ 書き損じたらしっかりと消してから書き直すこと。消し方が不十分だと電子化の際に、それらの情報が意図に反して反映されるおそれがあります。